



後援会 だより Vol.8

【安心できるまちづくり活動報告】
桶川市議会議員 山中 敏正
連絡所 ☎ 048-787-3796



令和2年12月発行



スマートフォンのカメラでアクセス!

<https://www.yamana-toshimasa.com/>

市議会について、桶川市HPから本会議のライブ中継をご覧ください。

桶川市議会スマート中継

検索

厳しい寒さの中、冬のひだまりがことのほか暖かく感じる歳末の候、皆様におかれましてはお健やかに過ごしのことと存じます。早いもので、昨年12月より桶川市議会に皆様のご支援でお送りいただき、一年が過ぎました。年が明けて、世界中に広がりを見せた新型コロナウイルスの感染拡大により、社会のシステムや私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。外出自粛要請により、経済・雇用が不安化する中で、働き方が変わり教育のシステムにも大きな変革が迫られました。まだ、終息の見えないコロナ禍ではありますが、私に今できることを探し、これからも桶川市がより住みよく明るいまちになるよう一歩ずつ取り組んでまいります。



【今年の定例会にて、一般質問をして主に取り組んできた内容をご紹介します。】

道の駅おけがわについて

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、特別な夏となった今年のお盆、都道府県によっては帰省の自粛が呼びかけられる中、帰省を控える方も多く、道の駅においてもいつもと違うお盆期間であったのではないのでしょうか。当市における道の駅おけがわについても、コロナ禍で予定されている事業スケジュールの見直しをしなければならない状況です。予定されていた施設の利用も、新しい生活様式を取り入れたものに変えていかなくてはなりません。今後の桶川市、そして地域を活性化させるためにも道の駅の成功は非常に重要であると認識しています。このような事をふまえ、現在の取組状況及び今後のスケジュールをどの様に進めて行くのか、質問をさせて頂きました。

Q 今年度の3月議会の当初予算では、実施方針は令和2年夏頃に公表予定と説明されたが、民間事業者の公募のタイミングはいつ頃になるのか伺う。

A 本市の道の駅整備事業は、設計、工事、維持管理、運営の一連の業務について民間活力を導入する方針としており、民間事業者の公募については、多くの企業に参加していただくことで競争性を高め、よりよい提案を得ることが大変重要と考えています。現在の企業の状況を把握することを目的に、5月と8月に複数の企業に対し、アンケート調査を実施いたしました。実際に公募した場合、応募が見込めるか伺ったところ、いつでも可能とする事業者もいましたが、コロナウイルス感染拡大の影響により、現時点で応募となると判断が必要との回答や、感染状況の推移を見てから判断したいとの意見もありました。このアンケート調査については再度実施し、外食産業市場動向調査なども参考に企業の実情把握に努め、適切な時期に公募を行っていきたくと考えています。



【農地を活用した、事業者選定を要望する】

❖道の駅周辺においては農地で耕作をされている方も多くいます。しかし、農業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地もだんだん目につくようになってきました。これからの地域農業の展望を描くことがだんだん難しくなっています。そこで、地域における人と農地の問題を解決する一つの手段として、この道の駅事業の中に農地を活用した取組をする事業者を選定していただけるように、要望をいたしました。

豪雨災害への対応について

今年の台風10号においては、日本近海の高い海面水温の影響で大型で非常に強い勢力となり、重大な災害につながる記録的な大雨・暴風の恐れがあり、気象庁は安全確保のため早めの避難の決断を含む最大級の警戒を呼びかけました。避難勧告が出された宮崎市では、大勢の市民が避難してきたことから、避難所で避難者の数が定員に達し、新たな受け入れができなくなりました。新型コロナウイルスへの感染を防ぐため、ほとんどの避難所で受け入れる避難者の数を半分に減らしていることが影響しています。今後、昨年の関東を直撃した台風19号と同じレベルのものが来た場合の事を想定し準備をしなければなりません。経験した事をふまえ、コロナ禍における豪雨災害への取組について質問をしました。

Q 避難情報の取組として、市民への情報発信方法について伺う。

A 本市では、昨年4月から運用を開始した電話応答サービスをはじめ、防災行政無線や防災情報メール、エリアメールや市ホームページなどによる情報発信に加え、市の広報車による呼びかけや消防団による巡回など、緊急の度合いに応じて対応してまいります。



Q 指定避難所は、主に市内の小学校や中学校、公民館施設等の公共施設となっているが、避難所の想定人数について伺う。

A 従前の想定では、小学校の体育館で約300名前後の収容が可能としておりましたが、コロナ禍の状況において環境衛生の向上を考慮すると、従前の5分の1程度の約60名前後になると考えています。

Q 大雨等降った時に、冠水をする場所や川が溢水した場所に見てすぐ分かる、ピクトグラムの標識を設置していただくことはできないか伺う。

A 平時からこの場所が浸水区域であり、局地的な大雨の継続や大規模な台風時に危険となるなど、注意を喚起する看板の設置を実際に設置している自治体を参考に、検討してまいります。

無堤防区間の溢水場所より

❖昨年の台風19号による荒川が増水し4箇所から溢水をした無堤防区間の築堤と、それまでの止水対策として仮の土嚢や水嚢の設置をできないか質問させて頂き、荒川本線の堤防整備は荒川上流河川事務所及び国土交通省関東地方整備局へ強く要望します。また、仮の止水対策は現地を確認しその可能性や有効性を検討しますとの答弁でした。これから毎年起こりうる災害に対し、市民の安心と安全を守るべく引き続き取り組んでまいります。

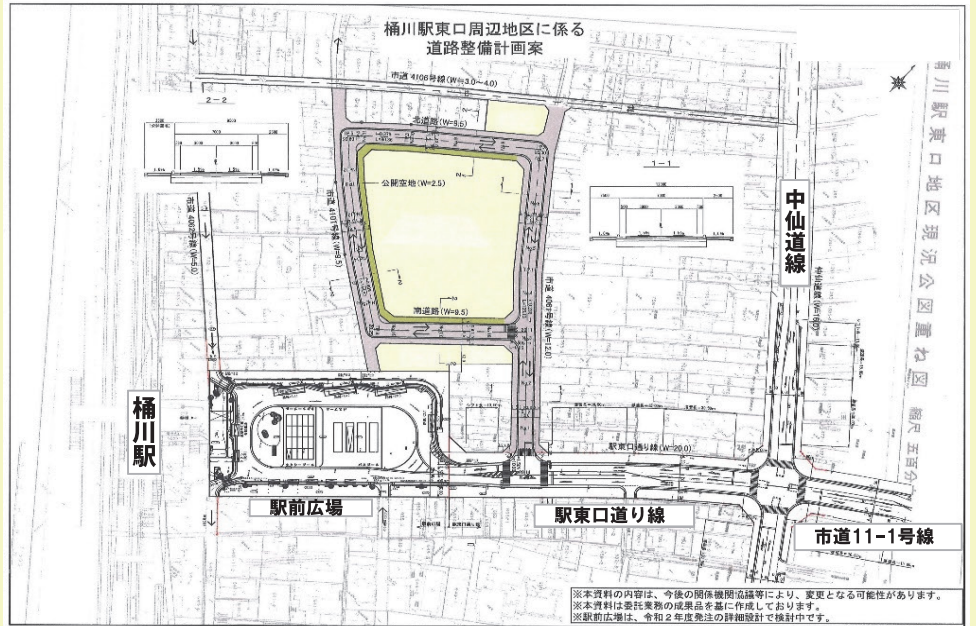


令和2年3月建設文教常任委員会の所管事務調査において、桶川駅東口開発推進事業の用地買収における進捗状況の質問した内容をお伝えします。

Q 駅東口開発推進事業の物件等の補償料で、前年度までの移転件数と残りの件数、また今年度予定されているものについて伺う。

A 駅前広場は、移転対象22件のうち15件が移転済みもしくは契約済みとなっています。県事業の駅東口通り線及び中仙道線は、移転対象が48件のうち27件が移転済み、もしくは契約済みとなっています。新年度の補償予定件数については、市事業の駅前広場で約64平米、市道11-1号線で約397平米の用地買収を予定しています。

❖「駅東口駅前広場」整備事業は、平成26年度から用地買収に着手し、令和2年8月末時点で事業用地の約80%を譲渡していただき、「駅東口通り線・中仙道線」整備事業は、平成28年度から用地買収に着手し、約54%を譲渡していただきました。令和3年度から、「駅東口駅前広場」の完成形を見据えながら、譲渡いただいた事業用地並びに事務用地を含め「仮設自動車送迎場」を拡張し、利便性の向上を図っていきます。



9月の所管事務調査では、市内小・中学校が新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月31日まで臨時休業となりました。6月1日(月)から学校が再開された中で、今年度入学の小学1年生への対応について伺いました。

Q 小1プロブレム学級支援委員の配置状況と職務内容及び、小1プロブレムとはどんなことを指すのか、対象者と対応について伺う。

A 小1プロブレムとは、入学前とのリズムとの違い等が原因で小学校生活に馴染めないことで、例えば話を聞くことができない、授業中に離席をし歩き回ってしまう、授業が成立しないなどの状態を言います。学級支援委員の対象者ですが、小学校1年生を中心とする児童が対象で、学校生活に適應できるように支援したり、生活指導の補助、各教科等の授業中の指導・補助をおこない担任とTTの形態で授業の補助をおこなっています。

Q 子どもが落ちつくまでの対応をされ、一般的な授業を受けられるような形がこちらの支援で達成されるのか伺う。

A 入学当初落ちつかなかった子供たちも担任と小1プロブレム学級支援委員と複数で対応することで、目が行き届き、きめ細やかな支援が受けられるので、日を追うごとに落ちついて授業が受けられてきています。

6月の定例会では、新型コロナウイルス感染対策に関する代表質問をさせていただいた内容の中で、学校が令和2年3月3日から5月31日まで臨時休業となりましたが、このような第2波が訪れた場合に学校の対応として家庭においてICT教育がおこなえる機器の環境整備について質問をいたしました。



Q ネット対応ができる児童生徒の割合はどのくらいいるのか、オンライン授業の方向性も含めて伺う。

A アンケートを実施し、家庭ではインターネット上の動画を見ることができると答えた割合が90%以上という回答を得ています。各学校においてHP上でオンラインの動画配信ができるように準備に取りかかり、今後オンラインを活用した学習支援について研究をしていきます。

❖7月の臨時会においてICTを活用した新たな学びの場を創出し、児童生徒に1人1台の端末と大型提示装置の整備を実施する、小中学校学習端末整備事業332,281千円が可決され今年度整備される運びとなりました。

❖日頃市民の皆さまからの要望に対する取組を一部ご紹介させて頂き、これからも住みよいまちづくりに取組んでまいります。ホームページ上のブログから活動報告をご視聴頂けますので、是非ご覧下さい。

【交差点への安全対策】

【歩行者が安心して通れるように、除草及び舗装の修繕をおこなう。】

